

# 甲南大学法科大学院の閉校のご挨拶

2004年4月に開校した甲南大学法科大学院は、多くの方々の御支援・御指導を得て運営して参りました。これまでに、本法科大学院は、170名を超える法曹を世に送り出してきました。また、本法科大学院は、有職社会人が職を辞さずに法科大学院で学修することができ、修了して司法試験の受験資格を得ることができる西日本で唯一の法科大学院であり、社会的な存在意義・価値は大きなものであったとも自負しております。

相当数の司法試験合格者を輩出した実績があること等を勘案いたしますと、本法科大学院における学生募集の停止、在籍する院生がいなくなった時点で廃止の決定は、まことに残念ではありますが、法科大学院として法曹養成という社会的使命を発展的・安定的に果たし続けていくことは困難であり、やむを得ない決定でありました。

本法科大学院の活動記録については、「甲南法務研究」第20号にまとめています。こうした本法科大学院の活動記録は、今後の法科大学院制度と法曹

養成システムのあり方に関する検討、甲南大学における教育、特に法曹養成に関わる教育を考えていく上で、何らかの役に立つものになるのではないかと、の思いから、まとめることにいたしました。

「甲南法務研究」も、本法科大学院の閉校とともに廃刊となります。「甲南法務研究」は、本法科大学院の紀要として、本法科大学院が設立された2004年度末である2005年3月に第1号が発行されて以来、毎年度途切れることなく発行されてきましたが、今回の第20号をもちまして廃刊といたします。これまで本法科大学院の紀要として多くの研究者・実務家の方々にお読み頂きまして、まことにありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

本法科大学院は、2023年10月をもって閉校いたします。これまで本法科大学院を支えて頂きました多くの皆さま方に厚く御礼を申し上げますとともに、今後とも甲南学園・甲南大学の発展に御支援賜りますよう、お願い申し上げます。